

第IV章

計画の推進



1. 計画推進の指標

- 本計画では「まもる」「はしる」「とめる」「いかす」の4つのテーマごとに施策を推進していきます。これらの施策は、相互に連携しながら自転車利用環境の向上や、自転車活用の推進を図るものです。
- 中期4か年計画（2018～2021）の最終年となる2021年度末時点での計画推進の目安として、指標を設定します。
- 毎年計画の進捗状況を確認するとともに、次期中期4か年計画の策定にあわせて、指標についても見直します。

■ 自転車活用推進計画の指標

自転車活用推進計画の指標			実現に関連するテーマ			
指標名	2021年度末時点	現状	まもる	はしる	とめる	いかす
自転車関係交通事故件数	1,800 件以下	2,093 件 (2017年)	○	○		
自転車通行ルールの認知度	2019年度より向上	2019年度に実施予定の市民向けアンケート調査結果等により指標を設定	○			
自転車保険の加入率	2019年度より向上	2019年度に実施予定の市民向けアンケート調査結果により指標を設定	○			
自転車通行空間の整備延長	43 Km (累計)	33 Km (累計・2017年度末実績)		○		
放置自転車台数	6,600 台未満	8,297 台 (2017年実績)			○	
附置義務条例による集客施設の駐輪場収容台数の増加	7,200 台	—			○	
自転車関連イベント(「いかす」施策)の開催件数(市が関係するもの)	10 件 (2019年度～2021年度累計)	—				○
自転車利用環境の満足度	2019年度より向上	2019年度に実施予定の市民向けアンケート調査結果等により指標を設定	○	○	○	○

2. 計画の推進

- 中期4か年計画では、SDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえ計画を推進することとしており、本計画の施策推進にあたっては、SDGsを意識して取り組んでいきます。
- 庁内関係部署が緊密に連携して個別の施策の推進を図ります。
- 進捗状況について、学識経験者等で構成する市長の附属機関「横浜市自転車等施策検討協議会」に毎年報告します。

3. 計画のフォローアップ

- 横浜市自転車等施策検討協議会の助言を受けつつ、毎年、本計画の進捗状況等に関するフォローアップを実施します。フォローアップでは、基本理念や4つのテーマを踏まえて、指標の達成状況や各施策の進捗状況を確認します。
- 社会経済状況の変化を踏まえ、また横浜市中期4か年計画や横浜都市交通計画の見直しとの整合を図り、本計画の各施策の見直しや次期計画への反映を行います。

■ フォローアップのスケジュール

【横浜市中期4か年計画】



【横浜都市交通計画】（目標年次 2030年頃）



【横浜市自転車活用推進計画】（2019年度～2028年度）

